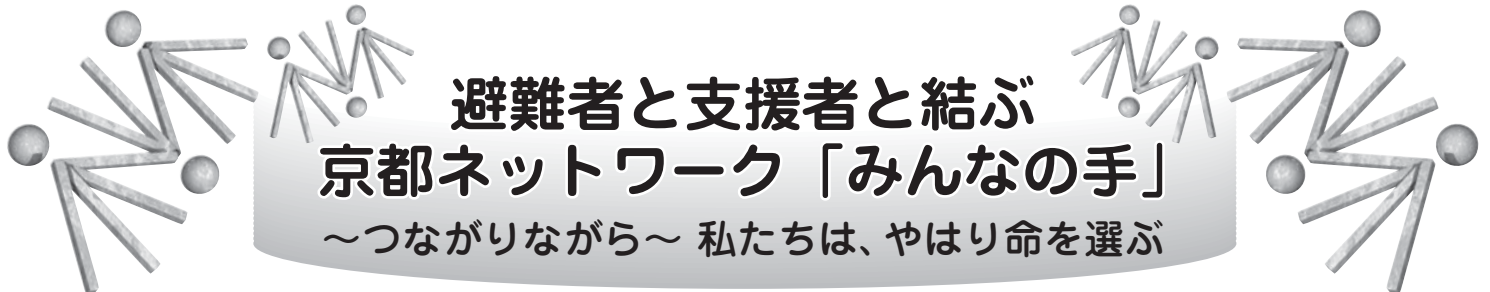




# 京都 YWCA

## 3 2012

YWCAは、キリスト教を基盤に、世界中の女性が言語や文化の壁を越えて力を合わせ、女性の社会参画を進め、人権や健康や環境が守られる平和な世界を実現する国際NGOです。



### 避難者と支援者と結ぶ 京都ネットワーク「みんなの手」 ～つながりながら～ 私たちは、やはり命を選ぶ

去る1月28日、東京電力福島原発の事故による放射能汚染により福島県から京都に自主避難されている西山祐子さんを京都 YWCA にお迎えし、自主避難に至る体験、これからの生活や支援についてお話を聞きました。

#### 西山さんのお話

福島第一原発爆発後、余震が続く福島市も断水し、店・ガソリンスタンドも締め、奔走を余儀なくされていたが、放射能の拡散やその影響については、政府発表が流されるテレビなどのマスコミからの報道では、避難の必要性は、感じていなかった。2歳の誕生日を迎えるわが子は、「じしんこわい」ということばを覚えた。そして公園であそばせていたことをずっと後悔している。友人からのメールにより避難を勧められ、両親や夫の了解を得て実際に行動に移し京都に落ち着くまでも、様々な葛藤があった。

「目に見えず、臭いもなく、音もしない」放射能が存在しているという現実には自分を引き戻すのは、ガイガーカウンターだけだ。

本当に悲しく、悔しく、つらいことが多い。「うつくしま福島」という故郷がバラバラになってしまった。時間が経過し、自主避難した人と留まり暮らす人との間に温度差を感じる。家族が離れて暮らすことに加え、将来的な健康への不安、差別を受けるのではないかと心配・・・こんな思いはもうたくさん。（以下略）

#### 西山祐子さんプロフィール

仙台や東京で英語講師、通訳などの仕事に従事、出産を機に福島市に戻り子育て中、被災。2011年6月に京都に娘と父母と避難する。伏見区の公営住宅で避難者の情報交換や交流を図ることを目的とした避難者の会を立ち上げる。

12月に「避難者と支援者と結ぶ京都ネットワーク みんなの手」という新しい会を発足。その輪を京都、関西へと広げたいと活動している。

みんなの手 HP <http://minnanote.com/> ブログは <http://minnanote.exblog.jp/>

西山さんは私たちへのメッセージとして、「自分のこととして考えてほしい」と強く訴えられました。この会のサブタイトル「～つながりながら～」には、西山さんの現在に至る日々の体験からの思いが詰まっています。今後、避難者と支援者を結ぶネットワークづくりの活動を進めていけます。私たちみんなが、今後忘れない視点として、そのメッセージを繰り返し噛みしめたいと思います。若狭には原発が、高浜4基、美浜3基、大飯4基、もんじゅ、敦賀2基あることを今一度、覚えておきたいと思います。20名ほどの会内外の参加者がそれぞれの立場で、これからできること、行動すべきことは何？という思いを持って参加されていたように感じました。



#### 京都 YWCA の被災者支援

京都 YWCA では、震災直後から被災者支援プロジェクトとして私たちにできることは何かを考え、行動してきました。西山さんとは福島 YWCA の方からのご紹介で接点を持つことができました。昨年11月に私たちは、主に母子で避難されている方々が行った「いも煮会」会場を訪問し、京都 YWCA のクリスマスバザールへのご招待を伝えました。バザールには14家族が来られ、「働いているスタッフやメンバーさんがとても親切で温かく、安らぎを感じました。」という感想をいただきました。

その他には、募金や物資集め、福島県新地町へのボランティア派遣、チャリティイベント開催、福島の子どものための保養のための受け入れを行ってきました。息長い支援の必要性を痛感し、被災者の支援を続けて行く予定です。この春休みにも京都に福島市の小学生に保養の機会を提供するため準備をしているところで、ボランティアや協力者を募集中です。詳しくは事務所にお問い合わせください。また、夏休みには、小学生や中学生を京都に迎えるプログラムや福島県新地町の仮設住宅へのボランティアの派遣等を計画中です。  
(弘中奈都子)

## ●●●●●●●●●● 京都の中の朝鮮文化を探る旅 ●●●●●●●●●●

京都 YWCA 主催「京都を学ぶ、味わう—大人の修学旅行シリーズ」として、2月12日、世界人権問題研究センターのガイドさんの案内で京都市西北部の朝鮮文化ゆかりの地を訪ねました。

### 在日一世が収集した珠玉の工芸品—高麗美術館

高麗美術館は、1925年に朝鮮半島から来日した鄭詔文(チョン・ジョムン)さんが集めた約1680点もの朝鮮の美術工芸品を展示する美術館です。偶然に出会った朝鮮陶器の美しさに魅せられた鄭さんは、差別を受けながらも懸命に働いて貯めたお金でコツコツと収集され、1988年に開館にこぎつけられました。この美術館には、「日本人だけでなく在日韓国・朝鮮人にも朝鮮文化の素晴らしさを知ってほしい」という鄭さんの思いが込められています。私たちは美術館の方の丁寧な説明を受けながら、風土に根ざした独特の技法を駆使した家具や日常品の美を堪能しました。

### 山背(やましろ)盆地を開発した秦氏

平安京の造営には朝鮮半島からの渡来人の技術が大きく貢献しました。太秦(うずまさ)と呼ばれる嵐山一帯に、新羅

から移住した秦氏の活躍の跡を見ることができます。平安京に遷都した桓武天皇の生母は百済王族の末裔とされ、都の造営は秦氏の主導で進められました。7世紀初めに秦河勝によって建立された広隆寺には、国宝第一号として知られる「弥勒菩薩」があります。日本では珍しく赤松でできており、韓国の国立中央博物館にある弥勒菩薩(金銅製)にそっくりです。

嵐山の渡月橋の上流には葛野大堰(かどのおおい)と呼ばれる場所がありますが、頻繁に氾濫していた1本の川(保津川~大堰川~桂川)を秦氏の土木技術によってせき止め、川の両岸へ農業用水を送り込んだ結果、嵯峨野一帯の農業は大きく発展しました。

京都の数ある朝鮮ゆかりの史跡のほんの一部にふれたに過ぎませんが、日本と朝鮮文化のつながりを知る実りある冬の旅となりました。

(生涯教育事業部)



嵐山河畔にて「葛野大堰」の説明を受ける

### シリーズ：原発事故から私たちの暮らしを問い直す(5)

## 原発とごみ 人類が生み出した どうにもならないゴミ

福島原発事故で、放射性廃棄物がどんなに厄介な代物であるかがわかった。なによりも、私たちが日々目にして

いるゴミとは違い、目にみえない臭いも

しない。この地球上の生き物はみな互いのゴミを糧にして生存して来た。しかし、人類だけは何千年も前から、他に還元しきれない何百、何千種ものゴミを大量に出し、その上に文明を築いて繁栄を誇っている。20世紀になって、どうにもならないゴミ、放射性廃棄物がこれに加わった。

この新種のゴミはどこかに集めて静かに置いておく以外に処理しようがない。処理しようとしてみても薄まるだけで、かえって管理しなければならない量が増えてしまう。目に見えないから一度散らかすと、何処にどういう状態であるのかが分からなくなり、危険極まりない。例えば、ひよんなきっかけでマンションの壁や床のコンクリートに紛れ込んでいたことが分かる。汚染された土をドラム缶に入れて頑丈な貯蔵庫に保管していても、いつの間にか亀裂の入ったドラム缶に水が浸入して、地下水に乗って遠い井戸に現れるかも知れない。何百年もすれば、それがなんだったかも知れ去られ、掘り返され、その上に家が建ち、学校ができ、一帯は新興住宅地になることだってあり得る。私たちは何百年、何千年の間、放射性廃棄物を厳重に管理できるのだろうか。出てしまっ

たものは取り返しがつかない。もうこんなゴミは出さぬこと、「脱原発依存」などとケチなことはいわずにきっぱりと原発から手を引くことである。

### 子々孫々まで残る放射線

放射性廃棄物を運んだり処理しようなどと安易に考えないこと。放射性廃棄物を処理すると、その後に処理しなければならぬ廃棄物量は増える。運搬すればかならず環境中へ放射性物質をまき散らす。運搬には交通事故の危険がつきまとうし、運搬中にも周辺環境に放射線被曝をもたらし、知らぬまに被曝する危険がある。もちろん作業に当たっての被曝も問題である。

そして最後に、どこに、どれだけの、どんな種類の放射性廃棄物が、どんな形態で、どのような経過で存在することになったかを記した「戸籍簿」とも云うべき管理台帳を作って、世代から世代へと受け渡していくことが大事である。何千年もの間に国家そのものだって亡びかねないのだから、これは容易なことではないのだが、このようにしてはじめて放射性廃棄物の危険性を最小限にとどめることができると筆者は考える。

子々孫々まで廃棄物中の放射能は残り続けるから、目先の経済性だけで物事を運んではならないし、何はともあれ負の遺産を殖やすことは慎まなければならない。「トイレなきマンション」を作ってはならないのであり、「自分で始末できんこととは、やめときなはれ」といいたい。

(京都反原発めだかの学校 大野 弘)



## アラブの春とパレスチナ ～見る・聞く・食べる・パレスチナ Vol.3～

1月28日、京都YWCA ブクラ（パレスチナ／イスラエル問題を考えるグループ）が、身近なアラブの文化を楽しんでもらいながら、パレスチナ／イスラエルの問題に少しでも関心を持っていただこうという趣旨でイベントを開催した。

「見る」：アラブの歌姫と称されているファイルーズの歌と映像を楽しむ

「食べる」：シリア出身の方の指導を受け、パレスチナ出身の留学生に手伝っていただき作った、ひよこ豆の料理・ホンモストとトマトスープ。ホンモストはパンに挟んで食べる

「聞く」：「アラブの春とパレスチナ」と題した今野泰三さん（日本学術振興会特別研究員／大阪市立大学・院生）のお話

2010年12月17日、チュニジアの青年の焼身自殺がきっかけとなり、民衆のデモ、民主化運動が始まり、エジプト、リビア、シリア、湾岸諸国の中東地域に広まっている「アラブの春」。そのなか「パレスチナ」では、依然としてイ

スラエル政府は、パレスチナ人の殺害や逮捕を行い、入植地政策の強化、土地の没収、オリーブの木の伐採などがあり、「アラブの春」はパレスチナの人々にとっては遠い国のできごとのようにである。また欧米諸国の「アラブの春」に対するスタンスは表向きは「人権」「人道的介入」「民主主義」という美辞麗句が付くが、実際のところ、石油利権（湾岸諸国、石油輸出路の確保）や、対イスラエル政策と経済政策がからんでいる。欧米諸国にとって利益になる「民主化運動」は支持し、パレスチナを含むアラブについて、欧州諸国は昔から利益になる「民主化運動」は支持し、不利益あるいは手に負えないと判断すれば放置してきたのである。

会場には、リツダ出身の方、ガザ地区出身の方、シリア出身の方も参加されて、それぞれ異なった地区の現状のお話も聞くことができた。

最後に、リツダ出身の留学生が「今のパレスチナは、とても困難で、春は遠いけれど、私たちは強く負けないので、皆さんどうぞパレスチナへいらっしやい、という日が来ると信じています」と話された。

（坪野えり子）

## ここが違う世界の習慣

1月14日に、国際委員会主催で「ここが違う世界の習慣」と題した会を行いました。今回は、にほんご教室洛楽の受講生のスリマン・スリマンさん（シリア出身）と高橋ジナリンさん（フィリピン出身）、同志社大学留学生ステイピンズ・オテリヤさん（イギリス出身）から、それぞれの国の「お祝い事」を中心に話していただきました。

シリアの結婚式では、花婿の着付けを男友達みんなですること、式のあとパーティーがほとんど一晩中続く様子など、フィリピンでは18歳で成人する時、家族皆でお祝い

シダンスを楽しむ様子などが紹介されました。イギリスのオテリヤさんの育った村では葡萄酒を作っていて、その収穫祭で踊るメイポールダンスのこと、イースターは宗教的な意味を子どもたちは知らなくなって単なる卵探し遊びのようになっていることなどの話がありました。

プロジェクターを使っての説明はわかりやすく、日本と違う文化を見ることができました。後半はお茶を飲みながら、日本語と英語が混ざったなごやかな交流の場になりました。普段はなかなか知ることができないことを見たり聞いたりできる時間をこれからも持てればと思います。

（国際委員会）

## わたし、京都YWCAに通っています！

きものリフォームひろばY・ワイ

中居静子さん

## —生きかえるきもの—

私が初めて宮川先生の作品に出合ったのは、京都YWCAのバザーでした。それは紵地のカスリ古布でできたブラウスでとても気に入りました。それから私も作ってみたいと思い、この「きものリフォームひろばY・ワイ」があることを知り、毎月1回だから何とかいけるかなと思いました。洋裁の基礎がなくてもできるのです。先生が作ってこられた作品を見て型紙を写させてもらい、作品の試着などもできる教室です。皆さんが作ってこられたものを見せてもらったりすると、とても勉強になります。先生の人柄のおだやかさがとてもステキです。ワイワイガヤガヤといつも楽しく、いろんな方との交流もでき、あっという間に時間が過ぎてしまいます。たんに眠っているきものを、



みなさんの意見を聞きながらデザインを決めます



型紙を作ります



たとえうまくできなくても自分のために活かすことができます。これからも時間の許す限り作っていきたいと思います。



シリーズ：一緒に活動しませんか！

## 聖書に親しむ会



### ◆2つのグループが生まれました◆

**その1** 聖書の御ことばを通して、キリストが私たちに本当に伝えたかった事を、日本キリスト教団洛北教会の北川善也牧師から学びました。イエスはよく譬話をなさいますが、その内容は決して易しくはなく、字面を追って理解するほど簡単ではありません。簡単に悟ることのないように、深く味わい、そして生きる命を養う為なのかもしれません。今まで教会に一度も足を運ぶことのなかった方も、和やかな会ですので、ご出席ください。

今回は3月27日(火)午後2時より

(畠中隆子)

**その2** 2010年10月YWCAのグループとして始まりました。聖書は今も世界中のベストセラーといわれています。しかし、よみすすめるうちに疑問にぶつかり、途中で止まってしまったという方はありませんか。

2000年前、イエスはガリラヤ地方で宣教活動を行い、エルサレムで十字架での死を遂げました。イエス自身は文書を書き残していないので、私たちはイエスの教えや生涯を、イエスの死後40年を経て4人の福音書記者が記した新約聖書をとおして知るわけです。けれどもこの福音書もわたしたちのところに来るまでに長い旅をしてきました。福音書の成立、翻訳、背景などにも目を向けつつ、イエスからのメッセージを、日本キリスト教団京都教会の入順子教師の解説を通して、共に汲み取る事は楽しく、目からうろこの感があります。是非一度のぞいてください。

毎月第2金曜日午後2時より

(勝山久仁子)

## ■ご案内■

### 第90回定期会員集会

主題：「憐み深い人々は幸いである」  
マタイによる福音書5章7節

2012年3月20日(火・休)

10:00 受付開始

10:30～16:00

京都YWCAホールにて

京都YWCAの1年間の活動を振り返り、会員同士の交流を深めあう大切な場です。ぜひ、一緒に今後の活動について話し合いましょう！

### ホームページを リニューアルしました！ ぜひご覧ください。

<http://kyoto.ywca.or.jp/>

また、以下の方法でも発信をしています。

◆ブログ(活動報告)：

<http://kyoto.ywca.or.jp/report/index.html>

◆twitter : 京都YWCA

◆facebook : 財団法人京都YWCA  
京都YWCAのHPトップページ経由でAMAZONで買い物をしていた  
だけです。ぜひ、ご活用ください！

### ご寄付ありがとうございました。

敬称略 (2011年12月1日～2012年1月31日)

#### \*一般寄付

山村茂代、下村泰子、原田みな美、辻野茂子、鍛冶富美子、森明子、福井達雨、藤田、田淵豊子、クリスマス集会参加者、神門佐千子、上村愈巳子、松本弘子、篠田茜、森律子、安藤いつみ、府上映子、中村加代子、山本知恵、荒垣加津子、吉田紀子、同志社女子高等学校、畠中隆子、織田雪江、岡佑里子、宮武美知子、日本キリスト教団京都教区、八田耐子、山矢ミホ、井上依子、匿名1名

#### \*指定寄付

子どもの教育を考える委員会：木戸さやか、平野富希、赤尾陽子  
APT：上内英子、下村泰子、原田みな美、ヌヴェール愛徳会地区本部、マーサメンセンディーク、高山亨、京都ノートルダム教育修道女会、上島良彦、木戸さやか、平安女学院中学・高校チャプレン室、本田次男、京都・東九条CANフォーラム、永井靖二、上内鏡子、長岡真矢、石井ゆき、西原美那子、大畑泰次郎、杉山知子、金児明子、

神門佐千子、小澤亘、岡佑里子、同志社中学校、北垣由民子  
国際：筒井奈都子、西森頼子、北垣景子、中川美佳子、宮武美知子、井上依子

平和：服部素、匿名1名

次世代育成P：木戸さやか

子育て支援：川崎愛、木戸さやか、坪野えり子、平野富希

ピアノ募金：岡佑里子

ミニホール・キッチン改装募金：荒垣加津子、萩原佳苗、廣瀬、福嶋由里子、吉川、中村弘子、弘中奈都子、吉岡恵津子、木戸さやか、田淵紀子、中川美佳子、浅野久代、山本知恵、岡佑里子、畠中隆子、織田雪江、佐野千枝子、有田孝子、濱野、井上依子

賛助費：松永公子、神岡茂子、井上裕也

東日本大震災 被災者支援：高橋正子、服部素、クリスマスバザー実行委員会、文田則子

指導者養成：神原喜久恵

世界YWCA総会派遣募金：岡佑里子

### 1月・2月／理事会報告

#### ★理事会報告

○2012年8/1～4にスウォンYWCAと交流プログラムを予定。ボランティア募集中。

○「京都きつぷフェスティバル@同志社大学」2/19(日)に参加。

○APT 3/21(水)京都市多文化施策懇話会公募委員選定委員として協力

○次世代プログラム：デートDVについての被相談者マニュアル作成中(CDR/冊子)。

児童買春・児童ポルノ禁止法の改正に向けて院内集会に学生メンバーを派遣。

○会館302号室を、3月まで被災者支援の「マイ・セカンドハウス・プログラム」として活用。その他にもYWCA関係者に1泊2000円で利用してもらう。

○春と夏の福島キッズ受け入れプログラムの企画検討開始。

KYOTO YWCA No.507

2012年3月号(3月1日発行)

発行人 上村愈巳子

発行所 (財)京都YWCA

京都市上京区室町通水上ル

電話 (075)431-0351 FAX (075)431-0352

e-mail office@kyoto.ywca.or.jp

URL http://kyoto.ywca.or.jp

郵便振替 01080-9-1566

口座名義 (財)京都YWCA

定価 50円